KOIZUMI コイズミ照明器具　施工 取扱説明書

型　番　BHN6106T

お客様へ　器具の取付けの際、電気工事は工事店･電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ　施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警　告

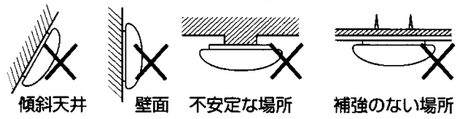
この表示を無視して誤った取り扱いをすると
死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

厳守

器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。
→器具の取付けに不備があると火災･感電･落下によるけがの原因になります。

禁止

このような場所には取付けないでください。
この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井･壁などには取付けできません。
不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。
→器具の落下によるけがの原因になります。



分解禁止

器具を改造したり、部品を追加･変更して使用しないでください。
→火災･感電･落下によるけがの原因になります。

禁止

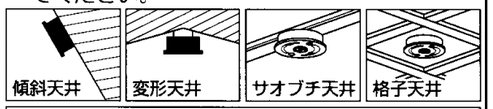
器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。
→感電･故障の原因になります。

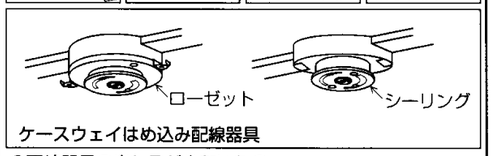
器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。
→火災の原因になります。

埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。
→樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災･落下によるけがの原因になります。

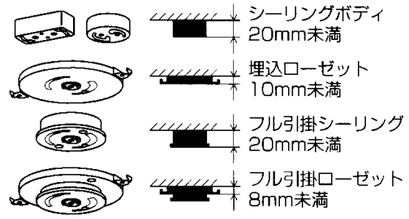
禁止

下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。
→火災･感電･落下によるけがの原因になります。配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店･電器店に依頼してください。





●配線器具の出しろが少ないもの



●破損している　　●電源端子露出形

厳守

異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。
→放置しますと火災･落下によるけがの原因になります。工事店･電器店にご相談ください。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ　保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

＜保証について＞

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。
   但し、蛍光灯安定器･ＨＩＤ器具の安定器は3年間です。
3. ランプ･グロー点灯管･電池などの消耗品は、対象外といたします。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
   (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   (5)施工上の不備に起因する故障や不具合
   (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
   (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＜アフターサービスについて＞

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店･工事店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店･工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 販売店･工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
   従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品･修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店･工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」･サービスセンターにお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より) 本体：1年間　安定器：3年間	お買上年月日	取扱販売店名･工事店名･住所･電話番号
お客様	お名前	
	ご住所	
	電話　(　　)	

コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。

取説No. C717-085 KL／S・T

⚠ 注　意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

接触禁止	**点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。** →やけどの原因になります。	禁止	**周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。** →火災・感電の原因になります。
水ぬれ禁止	**この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。** →火災・感電の原因になります。	禁止	**器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。** →火災の原因になります。
禁止	**ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。** →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	厳守	**表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。** →火災・感電の原因になります。

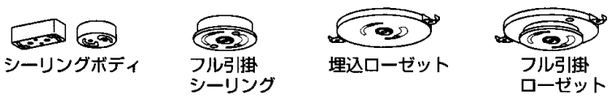
■定格

型　番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
BHN6106T	AC100V	50/60Hz 共用	94W	FHC 20+FHC 27+FHC 34 (豆球5W付)

※リモコン送信機で消灯した場合、約0.9Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■取付前の確認 ⚠警告　配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

天井に右図の配線器具がついている場合
電気工事は不要。取付けられている配線器具が確実に固定されているか確認する。



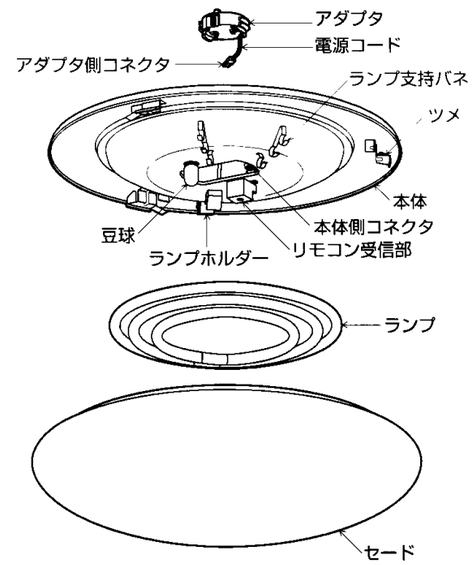
※この器具は防犯を補助するもので家宅への侵入や盗難を確実に阻止することはできません。

■目次

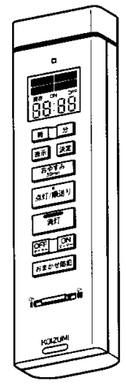
■取付手順・・・・・・・・・・・・・・・・P.3、4
■取外手順・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
■壁スイッチで操作する・・・・・・・・・P.5
■リモコン送信機について・・・・・・・・P.5、6
■現在時刻の合わせ方について・・・・・P.6
■チャンネル設定について・・・・・・・・P.7
■点灯状態の切替えについて・・・・・・P.7
■おやすみ機能について・・・・・・・・・P.8
■ONタイマーについて・・・・・・・・・P.8
■OFFタイマーについて・・・・・・・・・P.9
■おまかせ防犯について・・・・・・・・・P.10
■リモコン送信機のご使用について・・・・P.10
■修理を依頼される前に・・・・・・・・・・P.11
■リモコン送信機の使用上のご注意・・・・P.12
■使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・P.13
■故障ではありません・・・・・・・・・・・P.13
■ランプ交換について・・・・・・・・・・・P.13
■器具のお手入れ・・・・・・・・・・・・・P.13

■取付手順 ⚠注意　取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

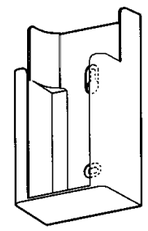
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



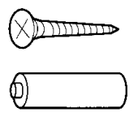
〈リモコン送信機一式〉



リモコン送信機・・1個



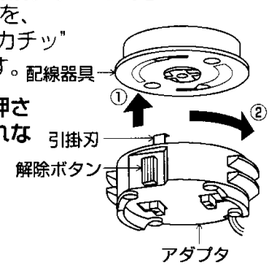
ホルダー・・・・・1個



取付用木ネジ・・・・・2本
単3形アルカリ電池(LR6)・・・・・・・・3本

1 アダプタを配線器具に取付ける

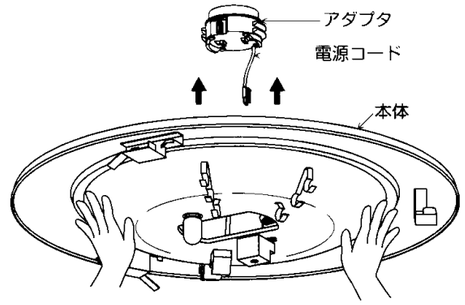
アダプタの引掛刃(2本)を、配線器具にはめ込み、"カチッ"と音がするまで右に回す。



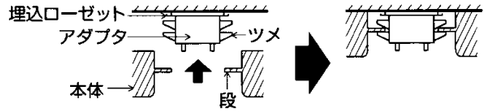
⚠警告　解除ボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。アダプタの取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

2 本体を取付ける

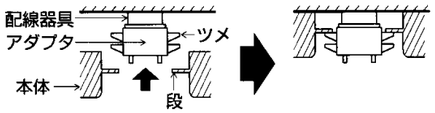
①本体の穴に電源コードを通す。
②本体をアダプタに合わせて押し上げる。



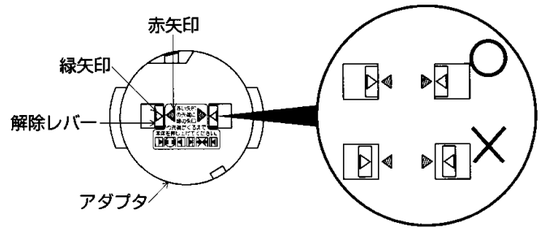
<埋込ローゼットの場合>
アダプタのツメに本体が引っ掛かるように1段階押し上げる。



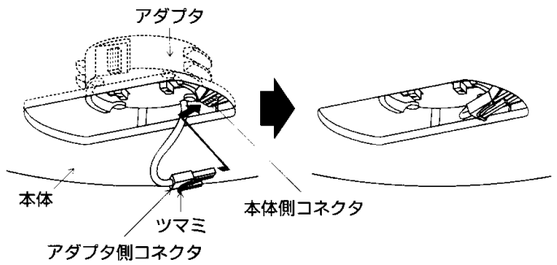
<その他の配線器具の場合>
2段階押し上げる。
本体がガタつく場合は再度強く押し上げる。



⚠警告　解除レバーの緑の矢印の先端が、アダプタの赤い矢印の先端にくるまで本体を押し上げてください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

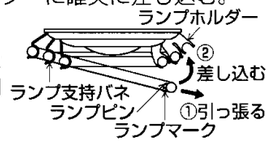


3 コネクタを接続する



4 ランプを取付ける

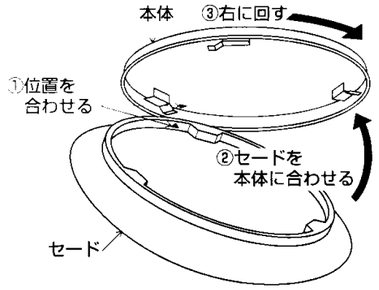
ランプマークを下側にしてランプ支持バネに取付け、ランプピンをランプホルダーに確実に差し込む。



※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

5 セードを取付ける

セードと本体の矢印を合わせ、"カチッ"と音がするまで右に回す。



6 点灯の確認を行なう

■取外手順

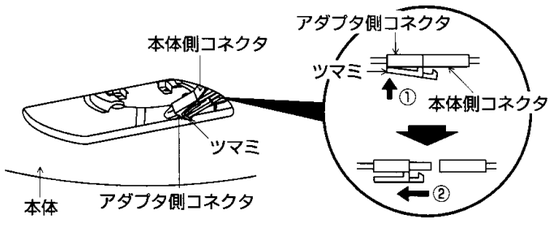
1 壁スイッチで電源を切る

2 セードを取外す

セードを"カチッ"と音がするまで左に回して取外す。

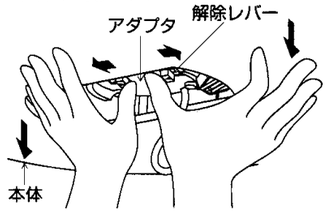
3 コネクタを取外す

アダプタ側コネクタのツマミを押さえながら引き抜く。



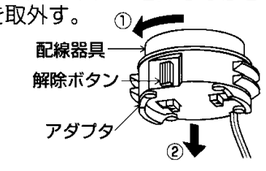
4 本体を取外す

本体を支えながら、アダプタのレバーを外側にひろげ、本体を取外す。



5 アダプタを取外す

アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取外す。

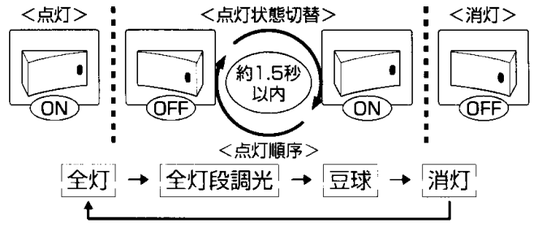


■壁スイッチで操作する　(プルレス操作)

●壁スイッチをONにすると点灯します。
・壁スイッチをOFFにし、約1.5秒以内にONにすると点灯状態の切り替えができます。
・壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにすると全灯状態で点灯します。

●1つの壁スイッチで2台以上の器具をプルレス操作することは避けてください。

●おでかけの際には壁スイッチをOFFにしてください。

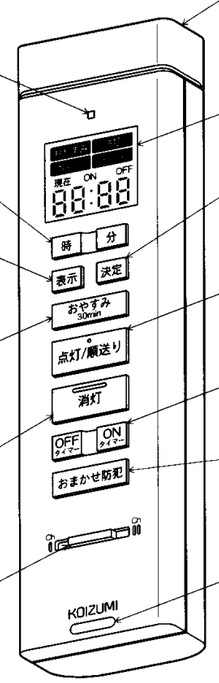


※おやすみ機能、ONタイマー、OFFタイマー、おまかせ防犯のいずれかを設定されている場合は、壁スイッチをOFFにしないでください。
(点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、全灯の状態になります。)

<ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>
壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されますとプルレス動作が正常にはたらかない場合があります。
壁スイッチを3個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

■リモコン送信機について

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は使用しないでください。



リモコン信号送信カバー
器具を操作する赤外線信号が出ます。
(上面部と前面部をふさがないでください。)

作動ランプ
おやすみ、ONタイマー、OFFタイマー、おまかせ防犯の作動中に点滅します。

液晶パネル

時・分ボタン
現在時刻、各タイマーの時刻を合わせます。

決定ボタン
現在時刻、各タイマーの時刻を合わせた後に押すと合わせた時刻に設定されます。

表示ボタン
現在時刻、各タイマーの設定時刻を表示します。

点灯/順送りボタン
器具の点灯状態の切り替えができます。

おやすみボタン
30分後に消灯させることができます。

OFFタイマー・ONタイマーボタン
設定された時刻に点灯や消灯させることができます。

おまかせ防犯ボタン
毎日異なった時刻に点灯と消灯を繰り返します。

消灯ボタン
全てのランプが消灯します。

蓄光マーク

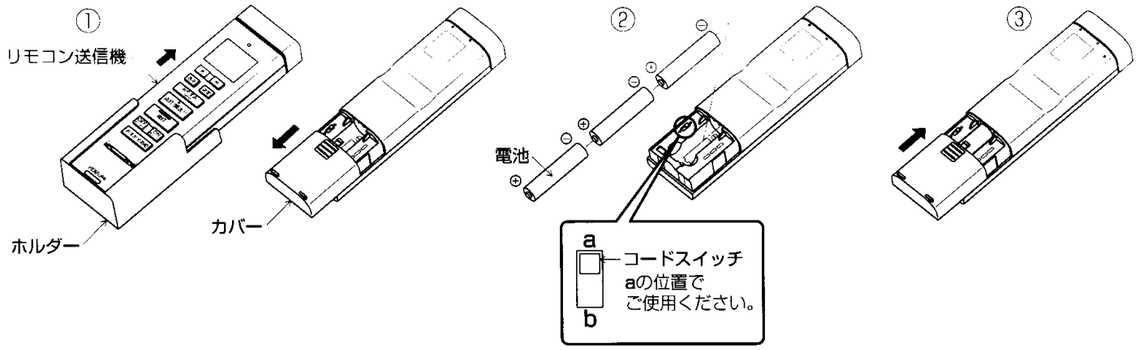
チャンネルスイッチ
2台の器具を個々に操作する場合に、器具側のチャンネル(Ⅰ・Ⅱ)と合わせます。

※対応器具以外は使用できません。
連続調光機能のある器具は、このリモコン送信機では連続調光できません。

1 リモコン送信機をホルダーから取出す

①リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーを外す。
②単3形アルカリ電池3本を極性を表示に合わせて入れる。
③カバーを取付ける。

お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。

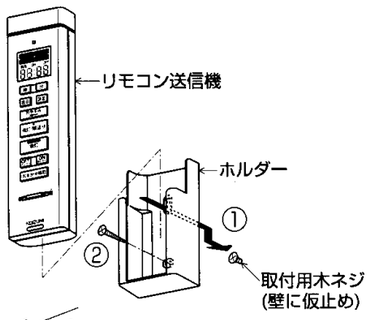


2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

①必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
②2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

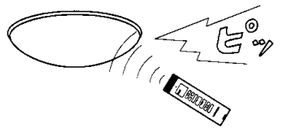
※その際、強く締め込まないようにする。ホルダーが破損するおそれがあります。

※操作する場合はホルダーから取り出し、器具に向けて行なってください。



3 リモコン送信機を操作

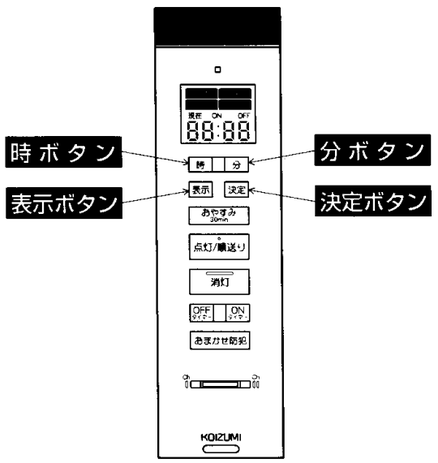
すると確認音が本体よりします。



■現在時刻の合わせ方について

電池を入れた直後は、「現在12：00」の点滅表示となります。

●現在時刻設定モード



表示ボタンを押して現在時刻を表示する。

↓

時·分のボタンで希望の時刻に合わす。
(例として、15時30分に合わせます。)
時ボタン…1回押す毎、または長押しで時刻表示が1時間ずつ進む。

分ボタン…1回押す毎、または長押しで時刻表示が1分ずつ進む。
(時·分ボタンを押して時刻を合わせている間は点滅表示になります。)

↓

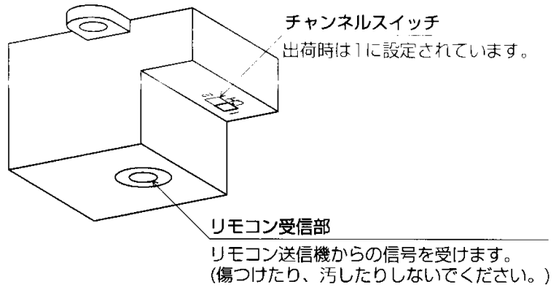
決定ボタンを押すと点滅が止まり、現在時刻が決定される。
※決定後、20秒以上ボタンを操作しない場合は、液晶パネルの表示が消えます。

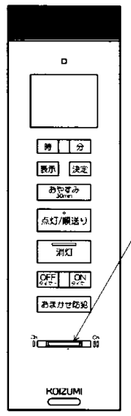
※電池を入れた直後、または設定途中でも、120秒以上ボタンを操作しない場合は、液晶パネルの表示が消えて現在時刻は設定前に戻ります。

■チャンネル設定について

2台の器具を個々に操作する場合は、器具側のチャンネルとリモコン送信機のチャンネルを合わせてください。

• リモコン受信部のスイッチについて

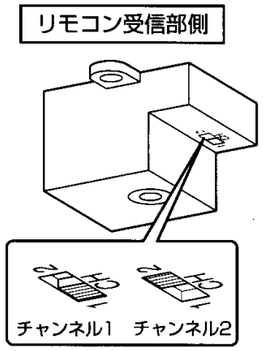


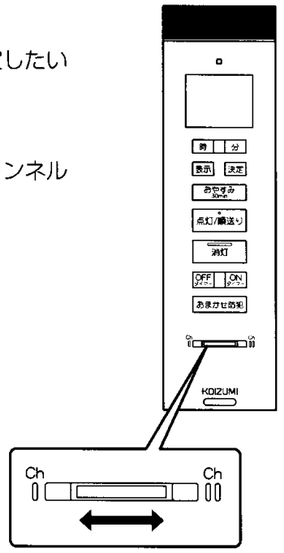


チャンネルスイッチ　リモコン送信機のチャンネルを設定したいチャンネルに合わせる。

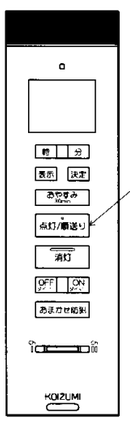
↓

器具のチャンネルを設定したいチャンネルに合わせる。





■点灯状態の切替えについて

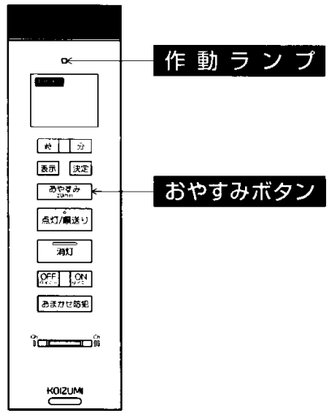


点灯/順送りボタンを押して点灯状態を切り替える。
リモコン送信機を操作することにより
全灯 → 全灯段調光 → 豆球 → 消灯 の順送りが可能です。

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。
また、リモコン送信機を操作すると、確認音が器具よりします。

■おやすみ機能について

30分後にリモコン送信機が作動して器具が自動消灯します。



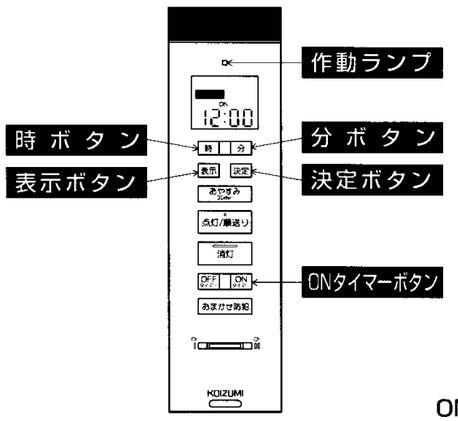
おやすみボタンを1回押す。
液晶パネルに おやすみ と表示され
作動ランプが点滅する。

※解除する場合は、おやすみボタンを1回押して液晶パネルの おやすみ 表示を消してください。
※おやすみ機能作動中でも表示ボタンを押すと時刻が表示されます。
※おやすみ機能作動中でもONタイマーとOFFタイマーの時刻設定ができます。
※おやすみ機能作動中でもONタイマー、OFFタイマー、またはおまかせ防犯を作動させることができます。
※おやすみ機能作動中は、現在時刻の変更はできません。
※おやすみ機能設定後、壁スイッチはONにしたままご使用ください。
※点灯や消灯時に器具から信号音が1回～複数回鳴ります。

■ONタイマーについて

点灯時刻になるとリモコン送信機が作動して器具が自動点灯(全灯状態)します。

※初期設定は12：00。
※現在時刻が設定されていない場合は、ONタイマーを設定することができません。



表示ボタンを押して右のようにONタイマー設定時刻を表示する。

時·分のボタンで希望の時刻に合わす。
(例として、17時30分に合わせます。)
時ボタン…1回押す毎、または長押しで時刻表示が1時間ずつ進む。

分ボタン…1回押す毎、または長押しで時刻表示が1分ずつ進む。
(時·分ボタンを押して時刻を合わせている間は点滅表示になります。)

決定ボタンを押すと点滅が止まり、ONタイマーの設定時刻が決定される。

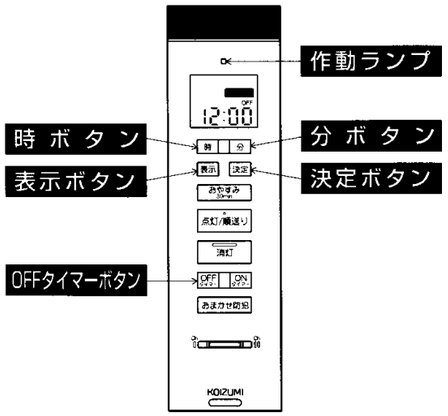
ONタイマーを作動する場合
ONタイマーボタンを1回押す。
液晶パネルに ONタイマー と設定時刻が表示され、
作動ランプが点滅する。

※解除する場合は、ONタイマーボタンを1回押して液晶パネルの ONタイマー 表示を消してください。
※設定途中に20秒以上ボタンを操作しない場合は、液晶パネルの表示が消えて、設定時刻は設定前に戻ります。
※ONタイマー作動中でも表示ボタンを押すと時刻が表示されます。
※ONタイマー作動中でも現在時刻、ONタイマーおよびOFFタイマーの時刻設定ができます。
※ONタイマー作動中でもおやすみ機能、OFFタイマーを作動させることができます。
※ONタイマー作動中におまかせ防犯を作動させるとONタイマーは解除されます。
※ONタイマー設定後、壁スイッチはONにしたままご使用ください。
※点灯や消灯時に器具から信号音が1回～複数回鳴ります。
※OFFタイマーと同じ時刻には設定できません。

■OFFタイマーについて

消灯時刻になるとリモコン送信機が作動して器具が自動消灯します。

※初期設定は12：00。
※現在時刻が設定されていない場合は、OFFタイマーを設定することができません。

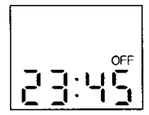


表示ボタンを押して右のようにOFFタイマーの設定時刻を表示する。

時·分のボタンで希望の時刻に合わす。
(例として、23時45分に合わせます。)
時ボタン…1回押す毎、または長押しで時刻表示が1時間ずつ進む。

分ボタン…1回押す毎、または長押しで時刻表示が1分ずつ進む。
(時·分ボタンを押して時刻を合わせている間は点滅表示になります。)

決定ボタンを押すと点滅が止まり、OFFタイマーの設定時刻が決定される。



OFFタイマーを作動する場合
OFFタイマーボタンを1回押す。
液晶パネルに OFFタイマー と設定時刻が表示され、
作動ランプが点滅する。

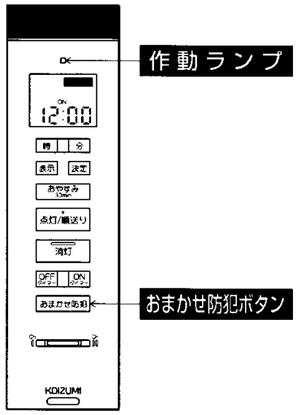
※解除する場合は、OFFタイマーボタンを1回押して液晶パネルの OFFタイマー 表示を消してください。
※設定途中に20秒以上ボタンを操作しない場合は、液晶パネルの表示が消えて、設定時刻は設定前に戻ります。
※OFFタイマー作動中でも表示ボタンを押すと時刻が表示されます。
※OFFタイマー作動中でも現在時刻、ONタイマーおよびOFFタイマーの時刻設定ができます。
※OFFタイマー作動中でもおやすみ機能、ONタイマーを作動させることができます。
※OFFタイマー作動中におまかせ防犯を作動させるとOFFタイマーは解除されます。
※OFFタイマー設定後、壁スイッチはONにしたままご使用ください。
※点灯や消灯時に器具から信号音が1回～複数回鳴ります。
※ONタイマーと同じ時刻には設定できません。

■おまかせ防犯について

毎日異なる時刻(4つのパターン)にリモコン送信機が作動して器具が自動点灯(全灯状態)し自動消灯します。

※現在時刻が設定されていない場合は、おまかせ防犯を作動させることができません。

パターン1 19：00に点灯し、22：15に消灯 → パターン2 20：15に点灯し、23：30に消灯 → パターン3 18：15に点灯し、24：00に消灯 → パターン4 19：30に点灯し、21：30に消灯



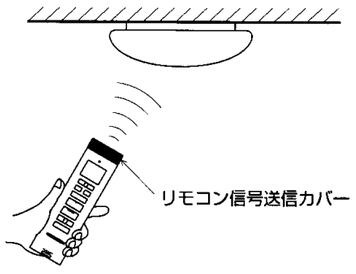
おまかせ防犯ボタンを1回押す。
液晶パネルに 防犯 と表示され
作動ランプが点滅する。

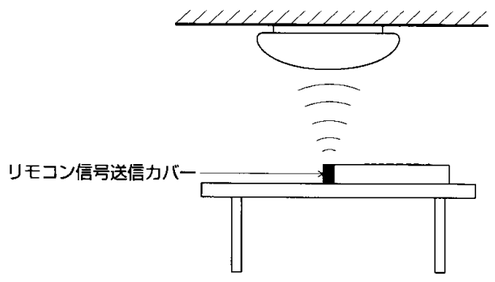
※解除する場合は、おまかせ防犯ボタンを1回押して液晶パネルの 防犯 表示を消してください。
※18：00以降におまかせ防犯ボタンを押しておまかせ防犯を開始させた場合は、翌日からの作動になります。
※おまかせ防犯作動中は、必ずパターン1から開始されます。パターンの順序や時刻を変更することはできません。
※おまかせ防犯作動中でも表示ボタンを押すと時刻が表示されます。
※おまかせ防犯作動中でもONタイマーとOFFタイマーの時刻設定ができます。
※おまかせ防犯作動中でもおやすみ機能を作動させることできます。
※おまかせ防犯作動中は、現在時刻の変更はできません。
※おまかせ防犯作動中にONタイマー、またはOFFタイマーを作動させると、おまかせ防犯は解除されます。
※おまかせ防犯設定後、壁スイッチはONにしたままご使用ください。
※点灯や消灯時に器具から信号音が1回～複数回鳴ります。

■リモコン送信機のご使用について

リモコン送信機は照明器具が操作できる位置にリモコン信号送信カバーを器具に向けてください。

- **照明器具を操作する赤外線信号は、リモコン信号送信カバーの上面部と前面部から出ます。**





※リモコン送信機は、照明器具の真下などの必ずリモコンが動作する場所に置いて使用してください。

■修理を依頼される前に

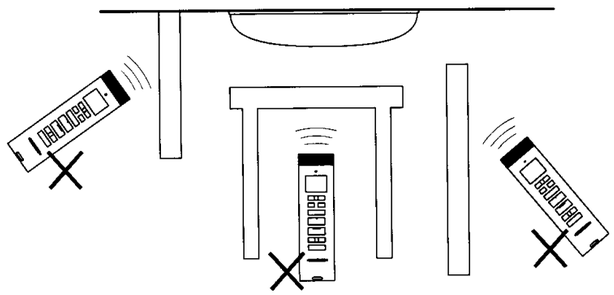
●動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現　象	考えられる原因	処　置
液晶パネルの表示は出ているが照明器具を操作できない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	リモコン送信機の電池が残り少なくなっている	**点灯/順送り**ボタンで点灯状態の切替えができない場合、電池を交換する
	ランプが切れている	ランプを交換する
	チャンネルが合っていない	照明器具とリモコン送信機のチャンネルを合わせる(**■チャンネル設定について**をご確認ください)
	コードスイッチがbになっている	コードスイッチをaに合わせる(**■リモコン送信機について**をご確認ください)
時刻が表示されない	一定時間後に表示が消える	表示ボタンを押して液晶パネルに表示する
液晶パネルの表示が出ない	リモコン送信機電池の極性⊕⊖が間違っている	電池を正しく入れる
	リモコン送信機の電池が切れている	電池を交換する
ONタイマーが作動しない	**ONタイマー** が設定されていない	**ONタイマー** を設定する(**■ONタイマーについて**をご確認ください)
OFFタイマーが作動しない	**OFFタイマー** が設定されていない	**OFFタイマー** を設定する(**■OFFタイマーについて**をご確認ください)
おまかせ防犯が作動しない	現在時刻が設定されていない	**表示**ボタンで現在時刻を設定し、液晶パネルに **おまかせ防犯** を表示する
おやすみ、ONタイマー、OFFタイマーやおまかせ防犯が作動しない	チャンネルが合っていない	照明器具とリモコン送信機のチャンネルを合わせる(**■チャンネル設定について**をご確認ください)
	コードスイッチがbになっている	コードスイッチをaに合わせる(**■リモコン送信機について**をご確認ください)
	リモコン受信部に信号が届いていない	リモコン送信機を器具が操作できる位置に置く
勝手に点灯や消灯する	おやすみ、ONタイマー、OFFタイマーやおまかせ防犯が作動中になっている	おやすみ、ONタイマー、OFFタイマーやおまかせ防犯のボタンで解除する

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

■リモコン送信機の使用上のご注意

- **このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。**
  リモコン式テレビなどには使用できません。
  他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- **電池(アルカリ電池を使用)の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。**
  電池は半年を目安に、必ず3本同時に交換してください。
  ※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
  ※マンガン電池の場合は、リモコン送信出力が弱くなり、寿命が短くなります。
- **器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。**
- **スイッチを早く押すと反応しない事がありますので、ゆっくり操作してください。**
- **長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。**
  リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり電力を消費します。
- **壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。**
  壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- **リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。**故障の原因になります。
- **温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。**過熱･故障の原因になります。
- **室温が低い場合は、点灯直後の再操作に時間がかかることがあります。**
  器具内の温度が上昇しますと正常に戻ります。
- **リモコン送信機のリモコン信号送信カバーが汚れますと作動しにくくなります。**
  乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- **器具をご使用になる部屋の天井･壁･床などの色が黒っぽいとリモコン送信機が作動しにくい場合があります。**
- **リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、作動しない場所があります。**しゃへい物をさけてリモコン送信機を操作してください。



■使用上のご注意

- **照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。**
  数年に1回は、専門家(工事店･電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災･感電･故障の原因になります。
- **リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。**
  器具の向きを変えてリモコン操作してください。
- **器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。**
  器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- **器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。**
  器具と音響製品を離してご使用ください。
- **点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。**
- **多灯用器具は間引き点灯できません。**

■故障ではありません

以下のような症状は、ランプが寿命末期になり、器具の保護回路が働いたためで、故障ではありません。

点灯中に突然ランプが・・・
・消灯もしくは点滅する
・消灯して暗くなったり、豆球が点灯する
・調光操作ができなくなったりする
いずれの場合も電源を入れ直すと再び点灯するが、しばらくすると同じ状態になる

電源を切ってランプを交換して電源を入れ直せば正常に点灯します。

■ランプ交換について　⚠注意　ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

⚠警告　指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

⚠注意　点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

⚠注意　ランプホルダー(ソケット)やランプ支持バネを強く弾かないでください。ランプの破損･けがの原因になります。

1 電源を切る

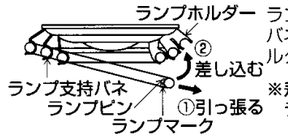
2 セードを取外す

■取外手順 2 を参考にセードを取外す。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。
落下によるけがの原因になります。



ランプマークを下側にしてランプ支持バネに取付け、ランプピンをランプホルダーに確実に差し込む。
※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

5 セードを取付ける

■取付手順 5 を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ　⚠注意　器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ケ月に1回程度の清掃･点検をしてください。
  ダイニング･キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 蛍光ランプの両端が黒ずみだしたら交換時期です。
  長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
  シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質･故障の原因になります。